



## CAC、AWS を利用した「enterpriseCloud+の DB マイグレーションサービス」を強化

株式会社シーエーシー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：西森良太、以下 CAC）は、企業のアマゾン ウェブ サービス（以下 AWS）導入と活用を支援するクラウドサービス「enterpriseCloud+（エンタープライズクラウドプラス。以下 eC+）」の「DB マイグレーションサービス」について、オープンソース（OSS）系データベース（DB）と互換性のある Amazon Aurora（以下 Aurora）への DB 移行に対応し、サービス内容を強化しました。

企業システムのクラウド移行では、SQL 書き換え作業など関連するコスト負担を避け、単純クラウド移行にとどまり、オンプレミスで利用していた商用 DB をそのまま利用している例も少なくありません。

Aurora は、MySQL および PostgreSQL と互換性があるクラウド向けのリレーショナルデータベースで、従来の商用 DB のパフォーマンスと可用性に加えて、OSS 系 DB のシンプルさとコスト効率性も兼ね備えています。企業はシステムのクラウド化に Aurora を利用することで、高速化、効率化、運用コスト削減といった単純クラウド移行を上回るメリットを享受できます。今回の CAC の「DB マイグレーションサービス」強化は、Aurora の活用による企業のクラウドネイティブ化の一層の促進を意図したものです。

### ■Aurora 移行のユースケース

今回の「DB マイグレーションサービス」強化は、利用ユーザー数約 2,000 名、データ容量約 2TB のデータを保有する製造業企業（以下 顧客企業）への DB 移行支援の経験と実績に基づいています。

顧客企業では、周辺システムのバージョンアップや見直しを検討、数年後に EOS（End of Support）を迎える SQL Server の DB 移行を計画し、以下の 2 点を優先事項としました。

- ・ DB を AWS へ移行し、日本と主要諸外国でのデータ参照を可能とすること
- ・ ライセンス費用や運用などの全体コストを抑えること

CAC は、この DB 移行を支援し、主に下記の作業を担当しました。CAC では、Aurora の特徴や機能（例：パラレルクエリーの効果性など）について多方面から検証を繰り返し、顧客企業の DB マイグレーションを実現しました。

- ・ オンプレミスから AWS への移行
- ・ 移行元と移行先が異なる DB について、データ分析を行い Aurora へ移行可能の診断

- ・ SQL Server から Aurora へのデータ移行
- ・ パフォーマンスチューニング など

今後もお客様のご要望に合わせて、オンプレミスから Aurora や Amazon Relational Database Service (RDS) などの AWS マネージドサービスへの移行支援など、様々な移行のご要望にお応えいたします。

そして、DB 移行の次ステップとして CAC が考える将来像「フルマネージド基盤」へ発展させ、過去から蓄積したデータをもとに、ビッグデータ処理、リアルタイム分析、機械学習など、ビジネスの状況に合わせた的確な意思決定をするための基盤構築をご支援いたします。

<アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社のエンドースメント>

本発表にあたり、日本における AWS クラウドの導入支援を行うアマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 パートナーアライアンス統括本部 執行役員 統括本部長 渡邊 宗行氏は以下のように述べています。

「アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社は、株式会社シーエーシー様の「DB マイグレーションサービス」強化の発表を歓迎します。Amazon Aurora は商用データベースと少なくとも同じパフォーマンスと可用性を備えており、AWS 史上最速の成長を続けています。株式会社シーエーシー様は、国内金融機関をはじめとした日本のエンタープライズ企業に AWS の導入実績を持つ APN パートナーです。本サービスを通じて、さらに多くのお客様に Amazon Aurora をご活用いただき、システムの安定稼働とコスト削減に寄与できることを期待しております。」

#### ■DB マイグレーションサービスの web ページ

[https://ecloudp.com/service/db\\_migration.html](https://ecloudp.com/service/db_migration.html)

#### ■技術レポート：「商用 DB→OSS DB（オープンソース DB）マイグレーションのススメ」

<https://ecloudp.com/media/report/a67>

#### <株式会社シーエーシー概要>

所在地：東京都中央区日本橋箱崎町 24 番 1 号

代表者：代表取締役社長 西森良太

資本金：4 億円（東証一部上場 株式会社 CAC Holdings の 100%子会社）

事業内容：システム構築サービス、システム運用管理サービス、業務受託サービス

コーポレートサイト：<https://www.cac.co.jp/>

[商標等について]

- ・ アマゾン ウェブ サービス、Amazon Web Services、AWS、Amazon Aurora、Amazon Relational Database Service (RDS) および Amazon Web Services ロゴは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- ・ 本資料に記載されている社名、製品名等は各社の商標または登録商標です。

\*本リリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

<本件に関するお客様からのお問い合わせ先>

株式会社シーエーシー

デジタルソリューションビジネスユニット

クラウドソリューション部 第一グループ

e-mail : cloudsales@ecloudp.com

<本リリースに関するお問い合わせ先>

株式会社シーエーシー 広報グループ

報道関係者お問い合わせ先 URL : <https://www.cac.co.jp/contact/>